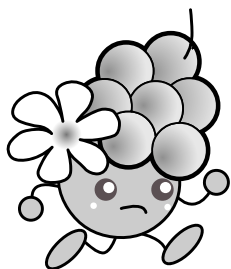


わがまち安全安心特集号

心と心をつないで 安全・安心のまちづくり

平成21年度から東淀川区が地域安全対策推進モデル区に



大阪市では、政令指定都市における街頭犯罪ワースト1の返上を目指し、平成20年9月に大阪市地域安全対策本部を設置し、市民協働を基本とした各種防犯対策を検討しています。また、防犯施策については、「『元気な大阪』をめざす政策推進ビジョン」の中で、「協働」を大阪のまち全体の社会運動を高める取り組みとして、本市の最重要施策と位置づけています。その中で、全市的な防犯対策の推進とあわせ、特に集中した防犯対策を推進する「地域安全対策推進モデル区」に東淀川区が選定されました。

「地域安全対策推進モデル区」では、大阪市地域安全対策本部の方針に基づき、区内における街頭犯罪発生件数を画期的に減少させることを目標に、市民協働を基本とした各種防犯対策を重点的に実施することとされています。

4月からの実施に向けて、青色防犯パトロールの支援、警察官OBによる防犯サポーターの配置、駐車場・コンビニエンスストアなどの事業者に対しての防犯カメラの一部補助、駐輪場などの公共施設での防犯カメラの設置などの検討を行っています。

安全なまちづくりを目指して《アンケート結果》

平成20年8月に大阪府が600人の市政モニターに対し「安全なまちづくりについて」アンケートを行いました。

● 犯罪が多い原因として

犯罪に対するモラルが低下したから	66.7%
地域のコミュニティが希薄になってきたから	51.6%
犯罪や暴力を賛美するようなゲームなどが氾濫しているから	49.9%

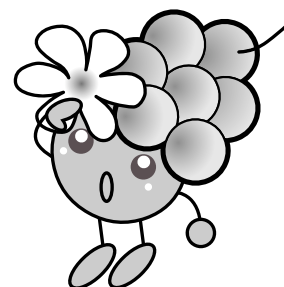
● 犯罪被害防止のため地域における防犯活動について

防犯パトロールを実施する	76.2%
通学路や児童公園等の安全点検を実施する	71.1%
警察や区役所との連絡を密にする	60.4%

● ひったくりや空き巣被害防止のため日ごろから心がけていること

少し遠回りになっても、明るい道を通る	65.2%
道を歩く時は道路側にバッグを持たないようにする	62.2%
地域の犯罪発生情報に注意している	53.8%

他にも「門灯などを遅くまで点け、防犯灯代わりにする」、「ドアや窓の鍵を二重にする」、「出かけるときは近所に声をかける」などの回答がありました。



アンケート結果を参考にして頂き安全安心のため、日ごろから犯罪被害に遭わないよう心がけましょう。

地域の安全のために区役所の職員がパトロールしています

東淀川区役所では、子どもの安全対策の取り組みを進めるため、区職員による保育所・幼稚園・小学校の通学路周辺を巡回する地域安全パトロールを実施しており、不審者情報などによる重点巡視、地域の皆さんと協力しての児童の見守りなどを行なっています。

さらに、子どもが安全で安心して遊べるよう公園・広場などの遊具などの点検を行い、関係機関への連絡などを行っています。また、道路などでも不法投棄やガードレールなどの破損を発見し次第、関係機関への連絡を行っています。

これからも、地域の皆さんと心をつないで、子どもの安全と安心のまちづくりにむけて取り組みをすすめます。

問合せ…区役所区民企画担当（地域安全対策）
☎ 4809-9815



地域の安全を見守るため、区内を4コースに分け、午前・午後の1日2回自転車で行っています。
まちで見かけたら気軽に声をかけてください。